

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	鹿島市立浜小学校
1 前年度 評価結果の概要	【学力向上】算数科の校内研究で、主体的に学びたいるように、単元構成を工夫した授業実践の取組の結果、新しい問題に挑戦しようという姿勢、対話活動や書く活動において成果がみられた。 【心の教育】キャリア教育は、図書室に「キャリアコーナー」を設置し、児童が将来の夢について考える機会を設けた。あいさつについては、次年度、新たな取組を取り入れていく。 【健康・体づくり】スポーツマンスリー期間を設定したり、スポーツチャレンジを引き続き全校での実施を呼びかけたりして、体を動かす機会を確保する。 【ふるさと学習】総合的な学習の時間は、新たに内容や人材を開発することができた。さらに、意図的に上学年の地域学習の発表を聞く機会を設定することで浜町の魅力を伝えていく。

2 学校教育目標	ふるさと愛する・光の子の育成
----------	----------------

3 本年度の重点目標	①自ら学び続ける子供の育成「ひびきあう子供部会」（知） ②豊かな心をもつ子供の育成「かがやく子供部会」（徳） ③たくましく生きる子供の育成「りっぱな体部会」（体）
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○算数科を中心に思考力・判断力の向上を目指すための授業改善	○「算数が好き・まあまあ好き」と回答した児童が80%以上。 ○「問題をなんとかして解こうとしている」と回答した児童が80%以上。		・主体的に学習に向かうように、単元構成や対話活動を工夫する。 ・学習習慣や学習環境、朝の特設タイムを充実させる。	・		・		・学力向上対策コーディネーター ・研究主任		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達の良いところを褒めたり、助け合っている」と回答した児童95%以上 ○「家族や地域の人にすすんであいさつをしている」と回答した児童93%以上		・年に1回以上、ふれあい道徳や人権週間を計画し、他者を思いやる気持ちを育む。 ・道徳や学活、日常生活の中で友達のいいところを見つけ、全校放送で紹介したり、やさしさの木に掲示したりする。 ・ほめられた児童には表彰状を用意したり、掲示したりして全校児童の目にふれるようにすることで、子供たちの意欲の向上につなげる。 ・5、9、1月をあいさつ強化月間とし、友達や地域の方に自分から進んであいさつをするように呼びかける。	・		・		・かがやく子供部会 ・人権・同和教育担当者		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめや不登校等の未然防止への「組織的な対応ができている」と回答した職員95%以上 ○「学級や学校は楽しい」と回答した児童90%以上		・いじめの対応についての研修を行う。 ・「あのねアンケート」を定期的を実施し、悩みや不安を抱える児童との面談を行い、継続的に見守る。 ・長期休暇前後に不登校チェックシートを使って、児童の状態を確認し、対応する。 ・隔週、気になる児童についての共通理解の場を設定する。 ・SC、SSWと連携し、児童や保護者との面談を実施し、ケース会議で取組等の確認をする。	・		・		・かがやく子供部会 ・生徒指導担当者		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒90%以上		・お昼の放送で「はまもんほめほめタイム」を行い、「いいところ見つけ」につながる日々の観察を全職員で協力しながら行う。1年間で全校児童を1回はほめる。	・		・		・かがやく子供部会 ・教務主任 ・生徒指導担当者		
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	②朝ごはんを「毎日食べている」と回答した児童99%以上		・週に1回の衛生検査で朝ご飯チェックを行い、朝食を食べることの意識を高める。 ・学期の始め1週間、生活点検を行い、望ましい生活習慣が身につくようにする。	・		・		・りっぱな体部会 ・保健主事		
	④「安全に関する資質・能力の育成」	○「学校の行き帰りは事故に遭わないように注意している」と回答した児童99%以上 ○地域と連携して、年3回の防災訓練を実施		・関係機関と連携し、交通安全教室や避難訓練を実施する。 ・登下校時のPTAや交通指導員との協力体制を維持、継続して、危険箇所を早期に発見し指導する。 ・自然災害時の下校対応について確認する。	・		・		・りっぱな体部会 ・安全教育担当		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	○月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合10%以下 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・時間外在校時間月平均19時間を目標にする。 ・定時退勤日を毎週金曜に設定する。 ・2学期制を生かし、事務処理の時間を確保できるように計画する。電子掲示板を活用し、話し合いの時間を短縮する。 ・サーバーの整理とCT利活用で、効率化を図る。 ・年次休暇を取得しやすくするために、夏季・冬季休業の会議や研修会を効率よく計画し、精選する。	・		・		・管理職		
●特別支援教育の充実	○児童の特性に応じた効果的な学習活動の構築	○個別的教育支援計画・指導計画・レベルシートの作成100% ○情報共有を定期的に行う(月1回)。 ○「学校は、特別支援教育について積極的に取り組んでいる」と回答した保護者90%以上		・期間を設けて、支援計画や指導計画、レベルシートの作成をする。特別な支援が必要な児童については、定期的な面談を実施し、保護者との情報を共有し作成する。 ・年3回の情報共有会議と連絡会後の「気になる子」の時間を設定する。	・		・		・特別支援コーディネーター ・教育相談担当		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
◎志と誇りを高める教育	◎地域と連携した教育活動の推進	◎「ふるさと浜が好き」と回答した児童94%以上		・児童が誇りを持ち、魅力ある浜町の発見につながる学習内容の計画及び改善と実施を進める。	・		・		・かがやく子供部会 ・教務主任 ・主事		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------